

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
 通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、
 国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、
 研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を
 学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	AIを用いたTAVI術前心臓CT解析の正確性の検討
当院の診療科・研究責任者	循環器内科 中嶋 正貴
他の研究機関	なし
本研究の目的	<p>TAVI(経皮的動脈弁植え込み術)は大動脈弁狭窄症に対する手術治療として、外科的動脈弁置換術と並ぶ第一選択です。術前評価としての心電図同期心臓CTは、生体弁の種類・サイズを含む治療戦略決定に最も重要であり不可欠な検査です。大動脈弁複合体を評価するためには、左室流出路、大動脈弁輪、バルサルバ洞、STJ、上行大動脈といった多断面の計測が必要であり、習熟した医師・放射線技師が計測を行っています。昨今のAI技術によりこれらの計測の自動化が可能になりつつあり、REVORAS workstation(ziosoft, Japan)はこの機能のプロトタイプを備えています。汎用化を進める際に自動計測の正確性の検証が不可欠であるが、手動計測とAI計測の整合性は評価されていません。</p> <p>本研究では、当院でTAVI-CTを撮像した患者における、手動計測と自動計測の比較、及び齟齬が生じる症例を明らかにすることを目的としています。</p>
研究期間	2018年1月1日～2030年末
研究の方法(対象となる方)	仙台厚生病院で心臓CTを撮像した方です。
研究の方法(利用する情報)	手動解析は実臨床で一般的に施行されている計測値を収集する。自動解析は、手動解析で解析したデータを用い、同一項目を解析し計測値を収集します。同一のCTデータを解析します。そのため追加のCT撮像を含む検査は必要としません。
個人情報の取扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。</p> <p>(利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。)</p> <p>研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。</p>
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>研究への利用を拒否する場合等の連絡先</p> <p>【電話】 022-728-8000</p> <p>【担当者】 (循環器内科医師：多田憲生、中嶋正貴) (放射線技師：芳賀喜裕)</p>
備考	学会発表、論文化予定